

まちかど ネットワーク

お便りをお待ちしています



このコーナーは、皆さんの意見や地域の問題をお届けしています。あなたの情報を、ぜひ広報広聴課へお寄せください。

☎55-2700 ☎51-1456

✉kouhou@div.city.fuji.shizuoka.jp



▲茶娘一同、よろしくお祈りします!! (下段中央が山田さん)

富 士のお茶振興推進協議会が主催する「第15回富士の茶娘クイーンコンテスト」の本審査が4月15日(日)、ラ・ホール富士で開かれました。今回、見事クイーンの座を射とめたのは、この春、大学に進学した山田佐和子さん。「高校卒業後、市内飲食店や放課後児童クラブで仕事をしていました。そのとき、たくさんの人のお世話になりました。今度は私の好きなお茶、おいしい富士のお茶のPR活動をさせていただくことで、少しでも地元の方々の役に立てれば、と思いコンテストに応募しました。

「第15代富士の茶娘クイーン」に選ばれた
山田 佐和子さん
(大淵出身)



でも、まさかクイーンに選んでいただけたなんて、信じられません!」とコンテスト終了直後に、少し興奮した様子で話します。

山田さんは「お茶は体によく、心に安らぎを与えてくれますね。私は毎食欠かさず飲むだけでなく、いつもペットボトルに入れて持ち歩いています。

今度、富士のお茶の葉を使った、天ぷらに挑戦してみようと思っています」とチャレンジ精神も旺盛です。

「好きな言葉は『向上心』です。富士のお茶をもっと全国の皆さんに味わってもらうために、とにかく頑張りたい。そのために、茶娘のみんな、そして、市民の皆さんと一緒に富士のお茶をPRしていきます」と、さらさら輝いた目が印象的でした。

富士のお茶振興推進協議会(農政課内)

☎(55) 2781
FAX(51) 1997



団 地横の道を歩くと、さまざまな品種、色とりどりの草花が目飛び込んできます。市営田子浦団地は、昭和49年から建設が始まり、昭和54年にA～E棟の計5棟となりました。現在、約200世帯が暮らしています。敷地を鮮やかに彩る草花を育てているのは、それぞれの棟に住む有志の皆さん。5年前に敷地内の一部を整地し、花壇にしました。それ以来、花壇の間仕切りに使う木材の調達や加工をはじめ、苗の購入から植え付け、維持・管理に至るすべてを自発的に行っています。

ズームアップ
草花であいさつのきっかけづくり
市営田子浦団地の花壇



▲花を前に思わず笑顔がこぼれます

市営田子浦団地自治会顧問の土井肇さんは「この団地は、北に新富士駅、南に国道1号と、主要な交通網に囲まれた場所に位置しています。最近では、大型店舗が相次いで建ち並び、人の流れが変わってきているのを実感しています。今では『きれいですね』とか、『何という花ですか?』など、草花が住民同士はもろろん、近くを通りかかると人たちの会話のきっかけになっています。

団地の横を歩き交う人たちと、あいさつを一言交わすだけでも、気持ちがいいですし、防犯面でも安心できます。また、以前は敷地内にごみが投げ捨てられることもあったんですが、草花を植えて始めてからそれも少なくなりました」と話します。

団地周辺では、四季折々の美しい草花と、あいさつを交わす皆さんの笑顔を見ることができました。